

夢づくり協働推進事業の実施状況 13

事業名

地域の食文化伝承と地域農産物活用促進事業

事業の概要

地域の暮らしの中で育まれた食文化の伝承を通じて地域農産物の活用の促進や、地産地消、食育の浸透を促進するため、地域食材を活かした料理、加工品及び郷土料理の講習会を開催した。

あわせて、地元直売所で寿司、おこわ等の郷土料理や農産加工品を販売し、一般消費者にPRした。

協働の主体・役割分担

協働の主体	役割分担内容
倉敷地域技術伝承者 (生活交流グループ員、技あり会員、農協女性部員)	倉敷地域の農林水産物を活かした料理の普及 地産地消の推進
市町等関係機関(倉敷市民学習センター、早島町公民館)、農協、大学、生協、民間企業	事業企画、活動協力、地産地消の推進
県民局(倉敷農業普及指導センター)	事業企画、技術伝承者の活動支援、地産地消意識啓発

実施状況

○講習会等の開催

昨年に引き続き、技あり会と倉敷市民学習センター、早島町公民館との協働により各公民館活動と連携して「地元産！旬の食材をおいしく」をテーマに講座を開催した。(12回)

また、地元大学の公開講座や生協会員の学習会、民間企業のイベント等に積極的に参加し、郷土料理や地元農産物を使った料理を紹介した。(5回)



男性料理教室で米粉・旬の食材を使ったメニューを指導
(8月20日、早島町公民館)



生協会員を対象にした講習会
(11月18日、おかやまコープ倉敷北店)

成果・効果

- 1 実習を通して地元食材の利用方法を紹介したことにより、消費者の関心が高まり、地産地消への意識づけにつながった。
- 2 公民館活動以外からの要請にも応じたことで、技術伝承者としての活動範囲が広がり、地産地消活動の必要性を再認識できた。